



五都市連絡協議会の職員交流派遣を継続するとともに、平成28年度には小学生のスポーツ交流として、当市を会場に剣道大会を開催するなど、3市の交流がより強固となるよう努めていきます。

○移住・定住施策

人口減少社会に適切に対応するため、登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても基本目標の一つとして位置付けたところであります。今後については、移住に関するパンフレットや動画、ホームページでの周知のほか、移住・定住イベントではこれまで参加していた大阪会場に加え、平成28年度は東京会場にも参加するなど、さまざまな機会を捉えて、登別での暮らしの魅力を発信します。

また、移住を希望される方に対し、それぞれの希望に合ったツアーを提案するなど、迅速で有益な情報提供に努めるとともに、移住体験施設の拡充を図るなど、当市の特色である観光の振興も視野に入れながら、定住人口や交流人口の増加に努めていきます。

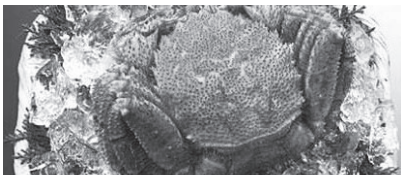
○定住自立圏の取り組み

室蘭市を中心市とし、周辺の関係市町が結ぶ協定に基づく定住自立圏

共生ビジョンが、平成27年度をもって終了することから、首都圏をはじめとする地域の高齢者がわがまちに移住し、健康でアクティブな生活を送るとともに、必要に応じて医療や介護を受けることができる『生涯活躍のまち構想』の実現に向けた取り組みなど、新たな視点を取り入れながら、今後5年間の共生ビジョンを策定し、定住のための暮らしに必要な諸機能を確保するとともに、地域資源を活用した経済の活性化など、魅力あふれる圏域の形成をさらに進めます。

○ふるさとまちづくり応援寄付金

ふるさとの発展と活性化を願う方が、わがまちの応援団として寄附しやすくなるよう、クレジットカード決済を導入するなど、寄附環境の整備を進めるとともに、寄附者への返戻品として、新鮮な魚介類やのぼり（つ）豚などの一次産品を追加するなど、当市の魅力向上や地域活性化につながる取り組みを進め、寄附額の倍増に努めていきます。



▲人気の返礼品である、登別漁港で水揚げされた毛ガニ

○心の豊かさによるまちづくり

これまで以上に魅力あるまちづくりを進めるためには、都市インフラの整備など物的な豊かさに加え、内外の優れた理念を活用し、道徳心の向上を図るなど、心の豊かさによるまちづくりに取り組むことが重要です。

そのため、先人の知恵の啓発を目的としたセミナーを開催するほか、社会教育事業など、さまざまな機会を活用した道徳心の向上に努めていきます。

また、市民が郷土を愛し、まちをより良くしていくための心構えを定めた『市民憲章』の趣旨をより多くの方と共有し、再認識していただくため、市民憲章掲示板を整備するとともに、イベントなどのさまざまな機会において、市民憲章を唱和した



▲『地区懇談会』で市民や市長、部次長職などの市職員がともに行う市民憲章の唱和

だくなど、さらなる啓発活動に取り組み、次代に継承できる道徳心豊かなまちづくりに努めていきます。

第3期基本計画策定に向けた市民と行政による検討の取り組みは、市民と行政がともにより良いまちづくりを目指すという大きな流れができたものと考えています。

私が市長として、まちづくりに携わってきた約7年間は、まさにこのような協働のまちづくりを目指し、歩んできた道です。

私は、まちづくりは人づくりに信じています。

まちづくりをもって人が育ち、その人の力によってまちが育まれていくものと改めて実感したところです。私が目指す協働のまちづくりには、まだまだ多くの課題が残っていますが、行政や市民、企業といった垣根を越え、それぞれが知恵を出し合い、創意工夫をもって課題解決に取り組むことにより、市民一人一人が誇りを持てるような輝くまちになるものと確信しています。

平成28年度は、第3期基本計画の初年度にあたり、未来に夢をつなぐ重要な年であり、職員とともに心の通ったまちづくりに取り組んでいきますので、市民の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いします。